

大槌町の復興まちづくり

H28.11.9

国土交通省都市局まちづくり推進課

(前大槌町副町長)

大水 敏弘

大槌町の復興まちづくり

大槌町の被災状況

■ 人的被災状況

- ・死亡者 813人
- ・行方不明者 421人
- 合計 1,234人
- ・関連死 51人
- ・人口推移

(23/3/1現在)

15,944人

(28/3/31現在)

→ 12,307人(人口減少3,637人 22.8%)

■ 物的被災状況

- ・家屋全壊・半壊・・・・・4,167世帯
- ・一部損壊・・・・・208世帯
- ・浸水面積・・・・・431ha(宅地浸水率 :52%)
(商業地浸水率:98%)



大槌町の復興まちづくり

■応急仮設住宅の状況(28/7/1現在)

2,097戸中 1,441戸2,803人 (入居率68.7%)

■復興事業

土地区画整理事業	4地区52.4ha	事業計画決定済
防災集団移転促進事業	5地区移転先30.0ha	大臣同意済
津波復興拠点整備事業	2地区24.0ha	都市計画決定済
災害公営住宅	全体計画962戸	
	H28年度までに431戸完成(進捗率45%)	

H27年度復興費は380億円(うち土木関連333億円)

↑ 震災前の50倍、政令指定都市にせまる規模



土地区画整理事業(町方地区)現況



災害公営住宅の建設状況

大槌町の復興まちづくり

■公共施設の状況

県立大槌病院 現在仮設で運営中 → **H28年5月開院**

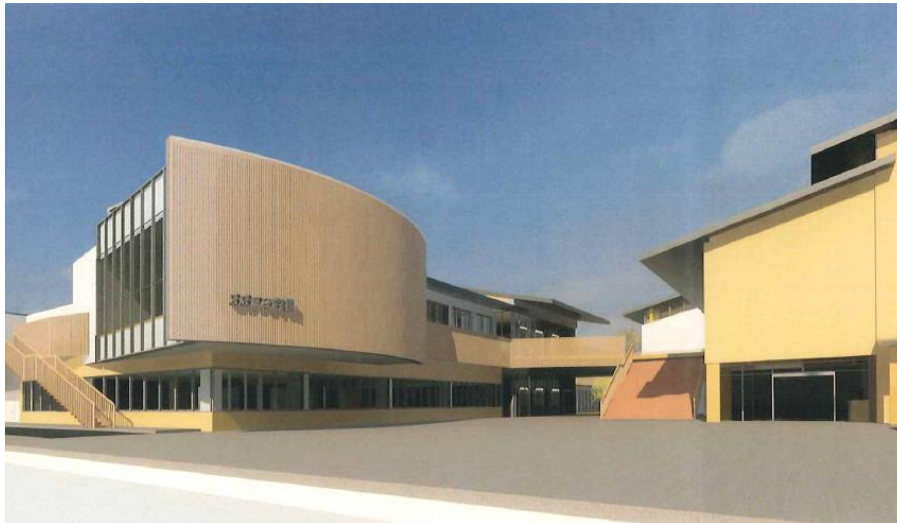
小学校・中学校 4小学校1中学校を合わせて仮設設置
→ **H28年9月開校**

消防署 仮設で運営中 → **H28年3月完成**

図書館 全壊し解体済 → 区画整理によるかさ上げ後
建築工事発注予定

公民館 安渡・赤浜地区(全壊) → 避難ホールと合築で再建(**安渡はH28年度完成目標**)
吉里吉里地区(全壊) → 単独で再建、用地を確保中

業者の確保に苦慮（工事費が高騰、人材不足）

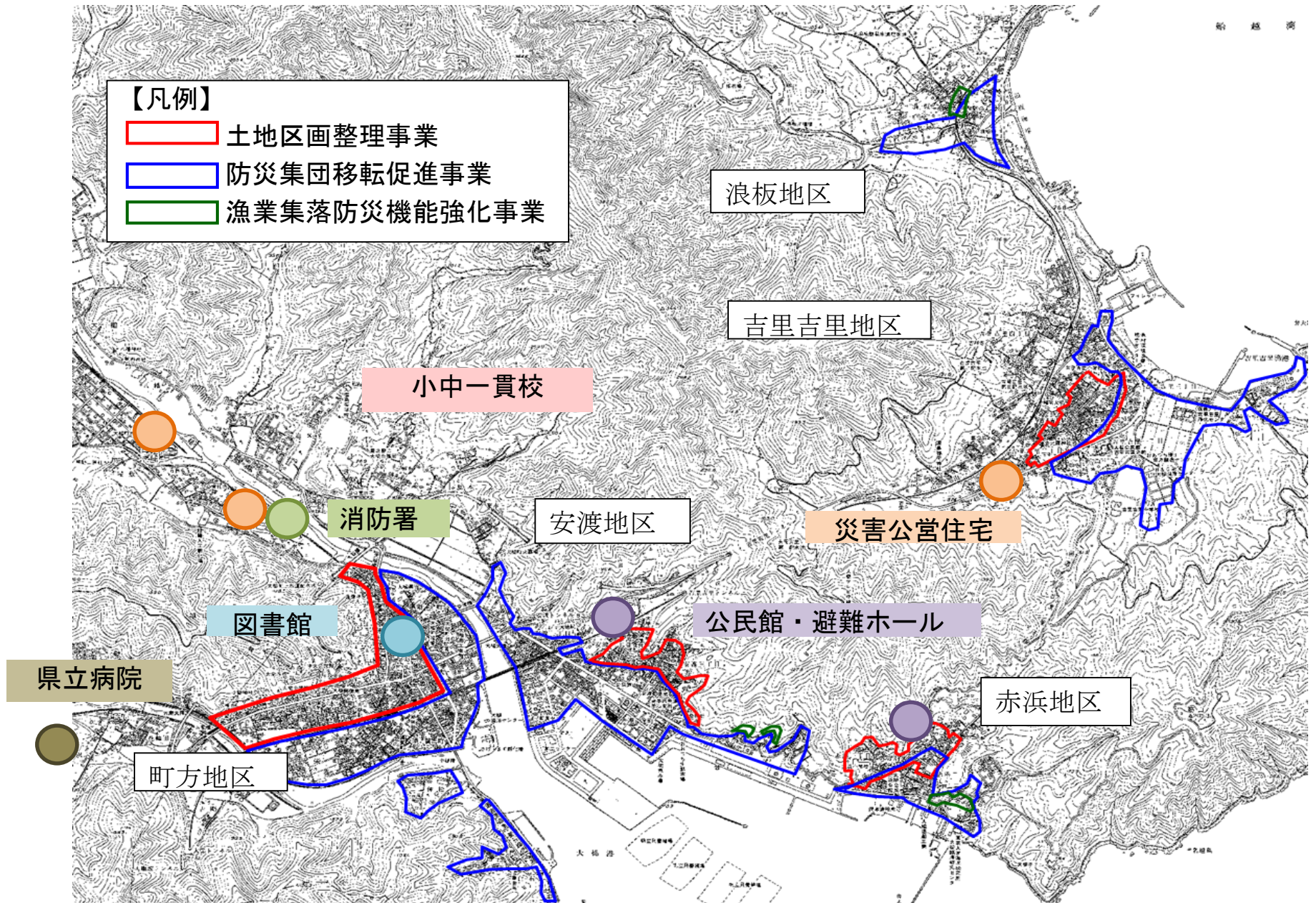


小中一貫校のイメージ



公民館・避難ホールのイメージ

事業区域と公共施設の配置



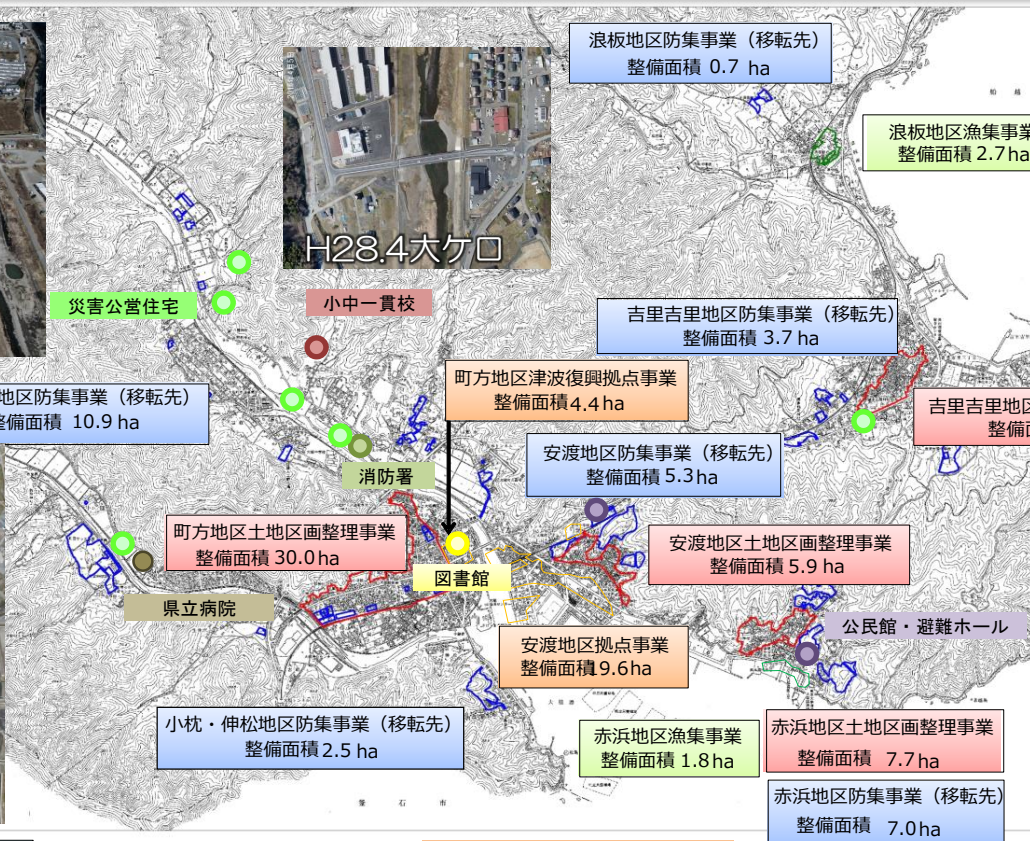
大槌町復興レポート

平成28年7月1日

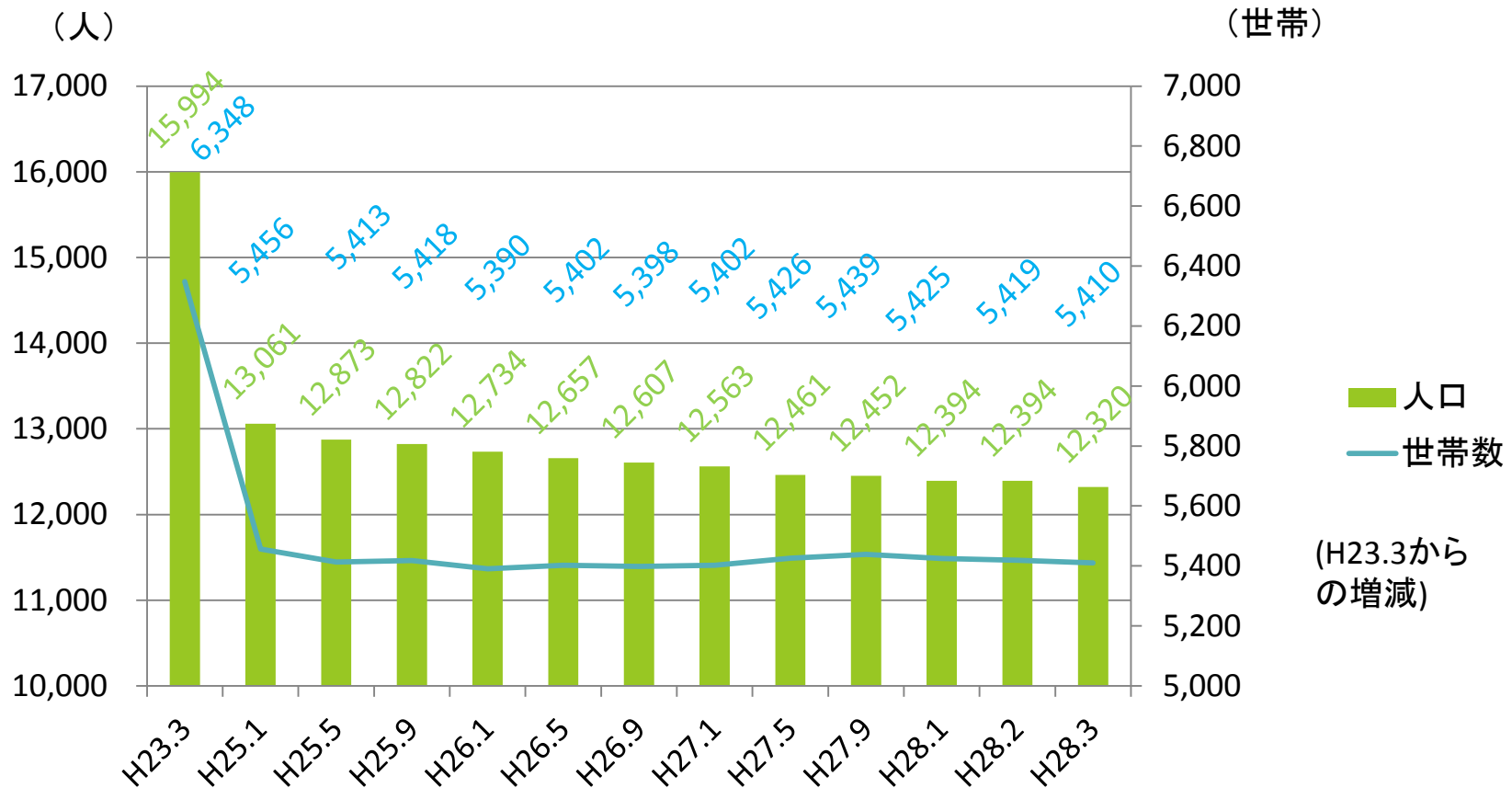
岩手県大槌町



復旧・復興の進捗状況

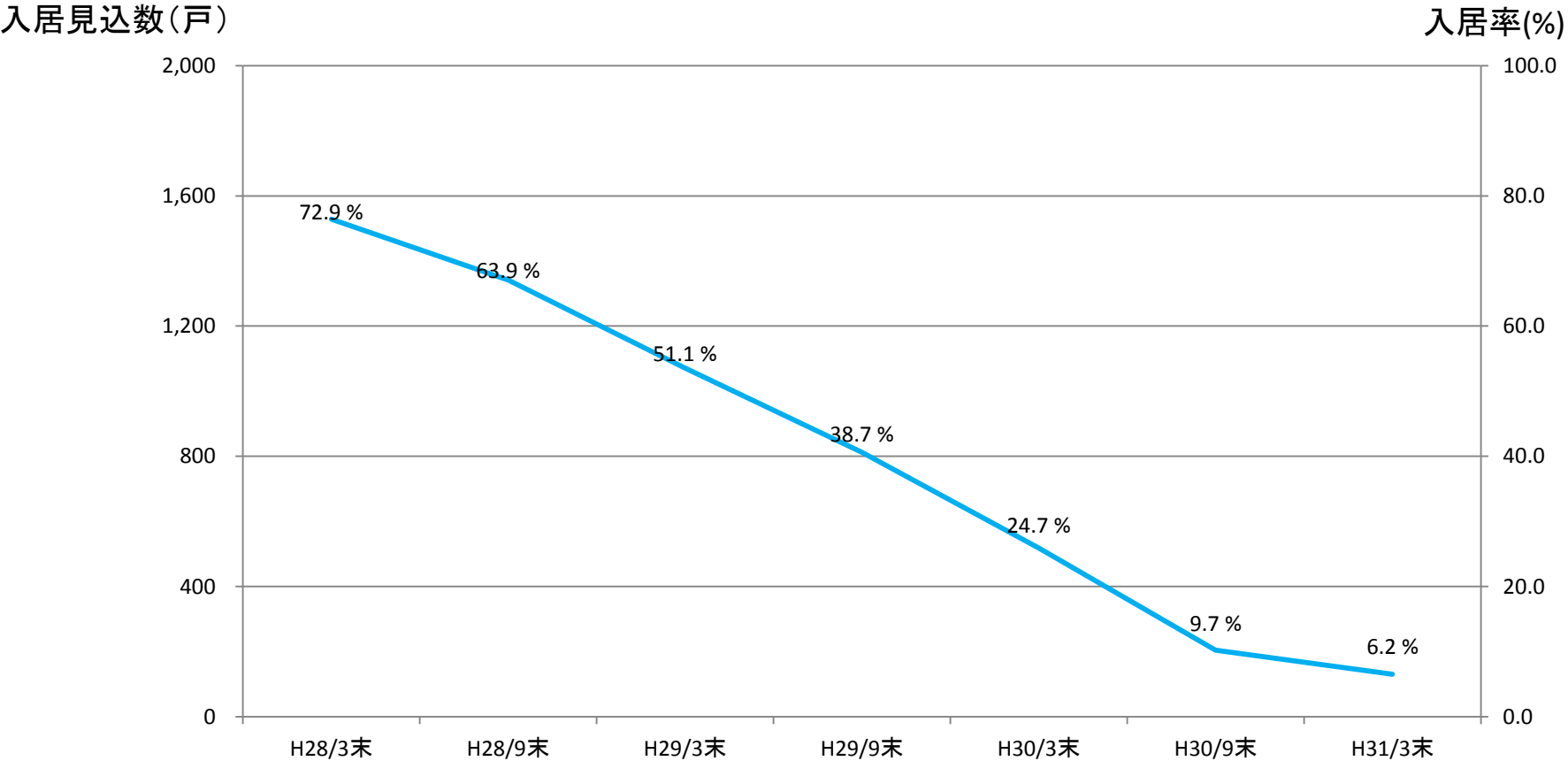


1. 町民生活の状況 (1)人口及び世帯数の推移



震災前(H23.3.1)	震災後(H28.3.31)	増 減
15,944人	12,320人	▲3,624人
6,388世帯	5,410世帯	▲978世帯

(2) 応急仮設住宅の状況

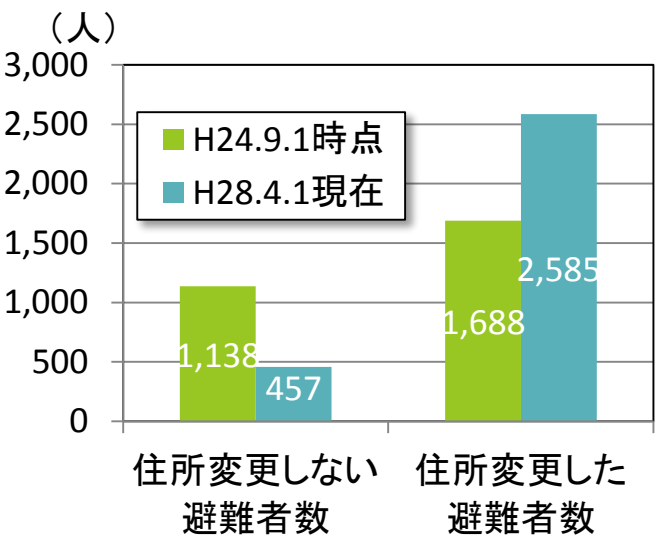


	H27年度	H28年度			H29年度		H30年度	
時期	H28/3末	H28/9末	H29/3末	H29/9末	H30/3末	H30/9末	H31/3末	
入居見込戸数	1,528	1,341	1,071	812	518	204	130	
入居率	72.9	63.9	51.1	38.7	24.7	9.7	6.2	

※H28.4.1現在

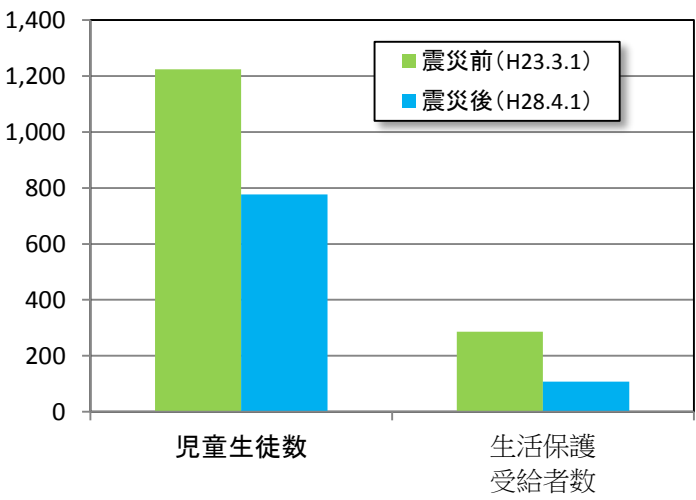
(3)町外避難者数等

○町外避難者数



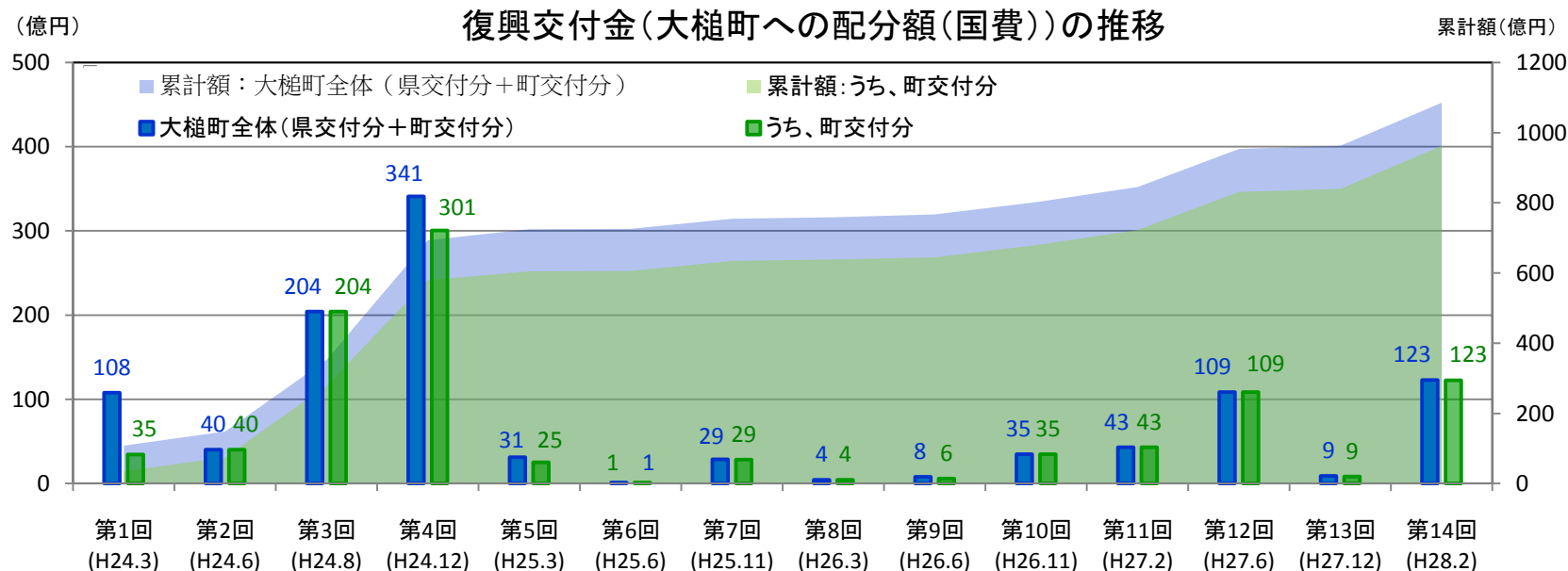
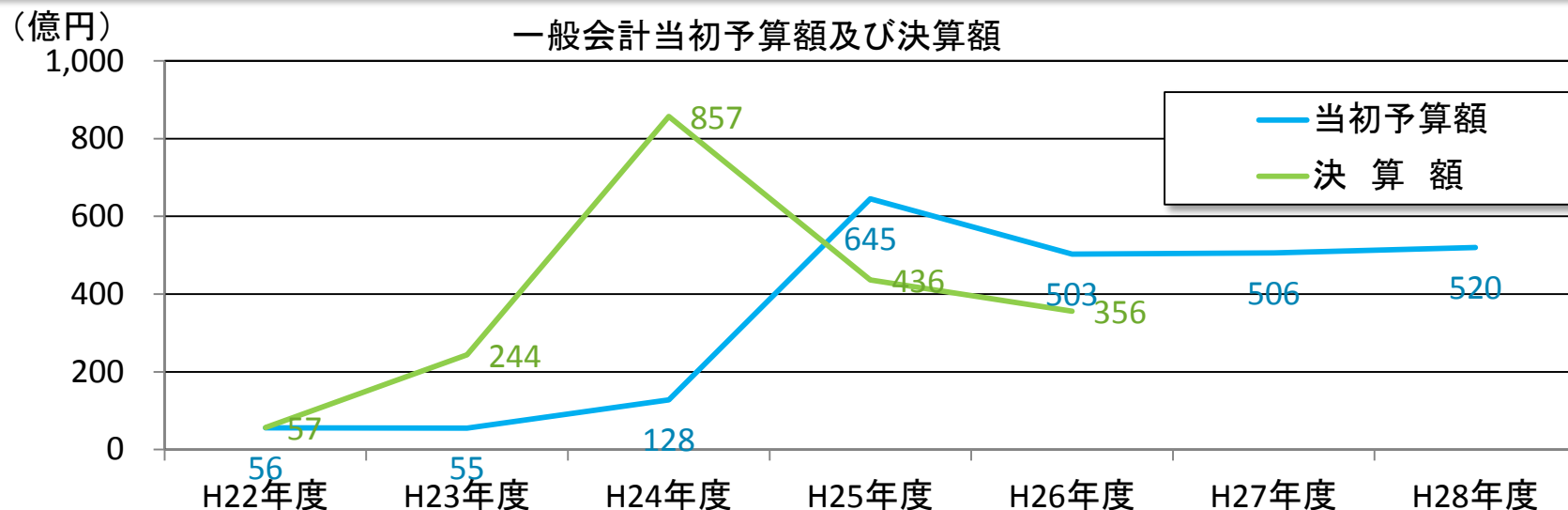
区 分	H24.9.1時点	H28.4.1現在	増 減
住所変更しない避難者数	1,138人	457人	▲681人
住所変更した避難者数	1,688人	2,585人	897人
計	2,826人	3,042人	215人

○児童生徒数



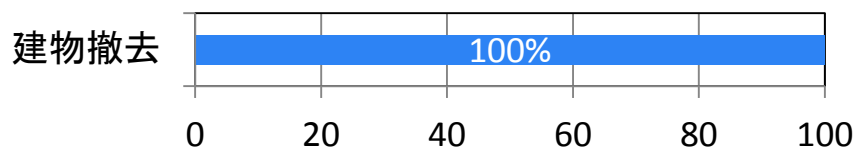
区 分	震災前 (H23.3.1)	震災後 (H28.4.1)	増 減
児 童 生 徒 数	1,224人	777人	▲447人
生活保護受給者数	286人	108人	▲178人

2. 町の復旧・復興の状況 (1) 予算の状況

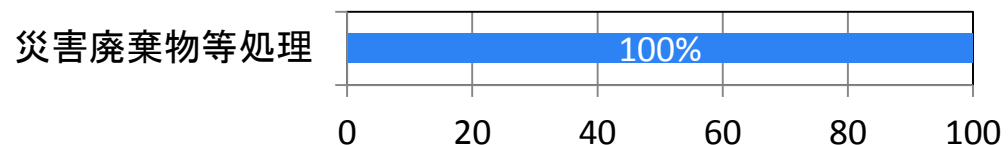


※H28.4.1現在

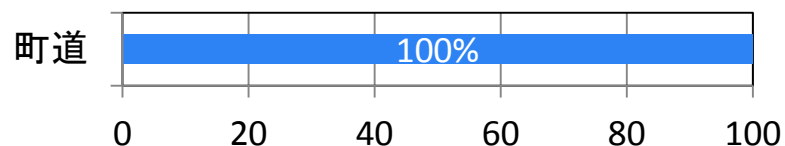
(2) 復旧事業の進捗状況



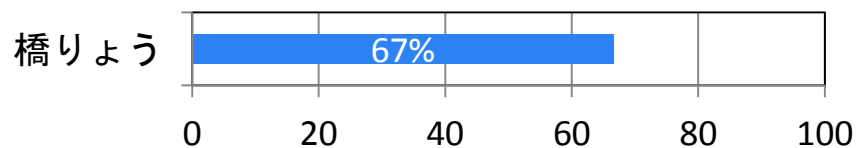
建物撤去総数	215箇所
建物撤去完了数	215箇所



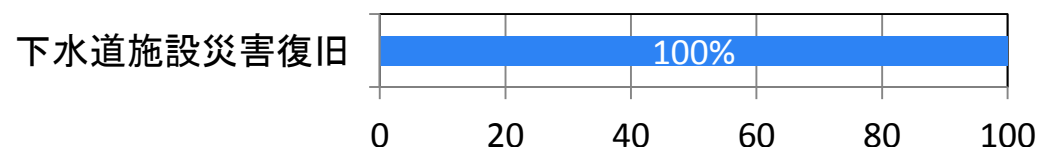
災害廃棄物等総量 (津波堆積物込み)	656千t
災害廃棄物等処理済み数量 (津波堆積物込み)	656千t



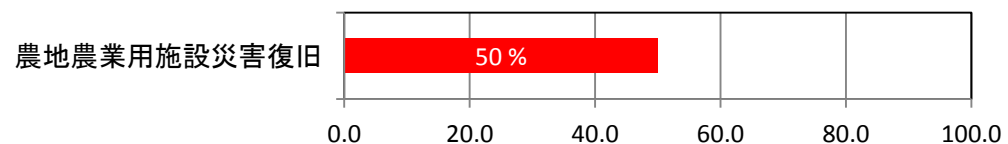
被災した町道箇所数	39箇所
復旧した町道箇所数	39箇所



被災した橋りょう箇所数	3箇所
復旧した橋りょう箇所数	2箇所



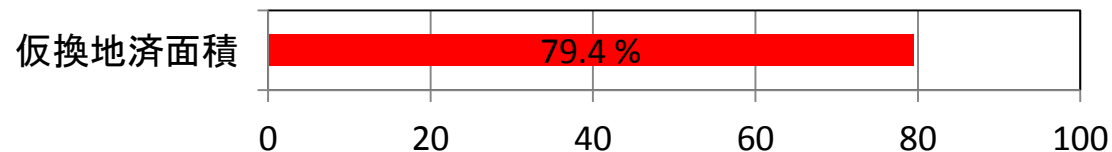
被災した箇所数	5箇所
復旧した箇所数	5箇所



津波冠水農地面積	14ha
復旧農地面積	7ha

(3) 復興事業の進捗状況

① 土地区画整理事業

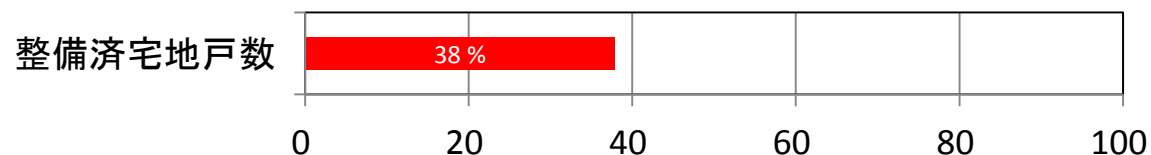


換地計画面積	366,035.8m ²
仮換地済面積	290,696.0m ²



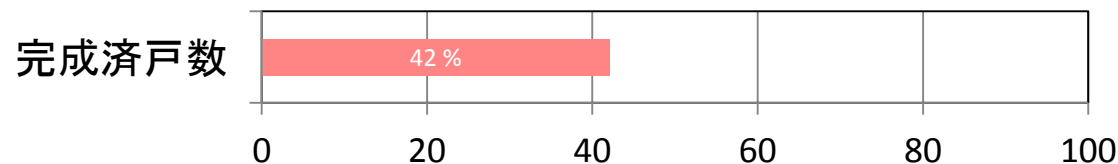
換地計画面積	366,035.8m ²
使用収益済面積	30,487.0m ²

② 防災集団移転事業



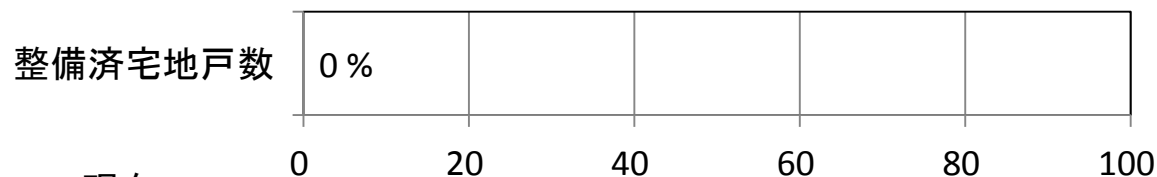
計画宅地数	438戸
整備済宅地戸数	166戸

③ 災害公営住宅



計画戸数	962戸
完成済戸数	405戸

④ 漁業集落防災機能強化事業



計画戸数	23戸
整備済宅地戸数	0戸

(3) 復興事業の進捗状況

① 土地区画整理事業

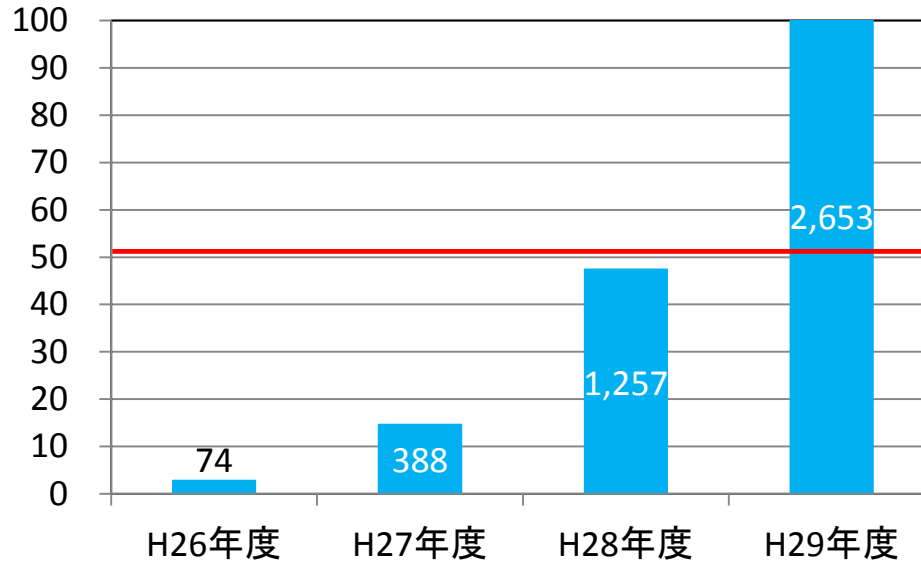
地 区			町 方	安 渡	赤 浜	吉里吉里	計
面積 (ha)		※1	30.0	5.9	7.7	9.1	52.7
計画人口 (人)		※1	2100	400	360	550	3410
都市計画決定	当初	※1	H24.9.28	H24.9.28	H24.9.28	H24.9.28	
	最新	※1	H27.10.26	H27.8.19	H26.12.8	H27.8.19	
事業計画認可	当初	※1	H25.3.7	H25.3.7	H25.3.7	H25.3.7	
	最新	※1	H28.1 (予定)	H27.11.24	H27.11.24	H27.11.24	
宅地完成年月		※2	H30.3	H29.8	H29.8	H29.8	

② 防災集団移転促進事業

地 区			町方・小枕・伸松	安 渡	赤 浜	吉里吉里	浪 板	計
移転促進区域 面積 (ha)	地区面積	※1	28.5	13.6	6.7	8.3	3.3	60.4
	住宅団地面積	※1	20.3	11.2	6.5	5.9	2.3	46.2
被災前戸数 (戸)		※1	918	482	140	177	47	1764
移転先住宅団地 (戸)								
※団地内の災害公営 住宅戸数を含む		※2	279	73	97	66	11	526
移転先団地面積 (ha)		※1	13.0	4.5	7.0	3.0	0.8	28.3
国土交通大臣 同意・変更同意	当初	※1	H24.9.24	H24.9.24	H24.9.4	H24.9.24	H24.9.24	
	最新	※1	H27.6.11※大槌町全地区を統合					
宅地完成年月		※2	H30.3	H28.7	H30.3	H28.9	H29.3	

(3)復興事業の進捗状況 ～区画整理等～

①復興まちづくり(区画数) (%)

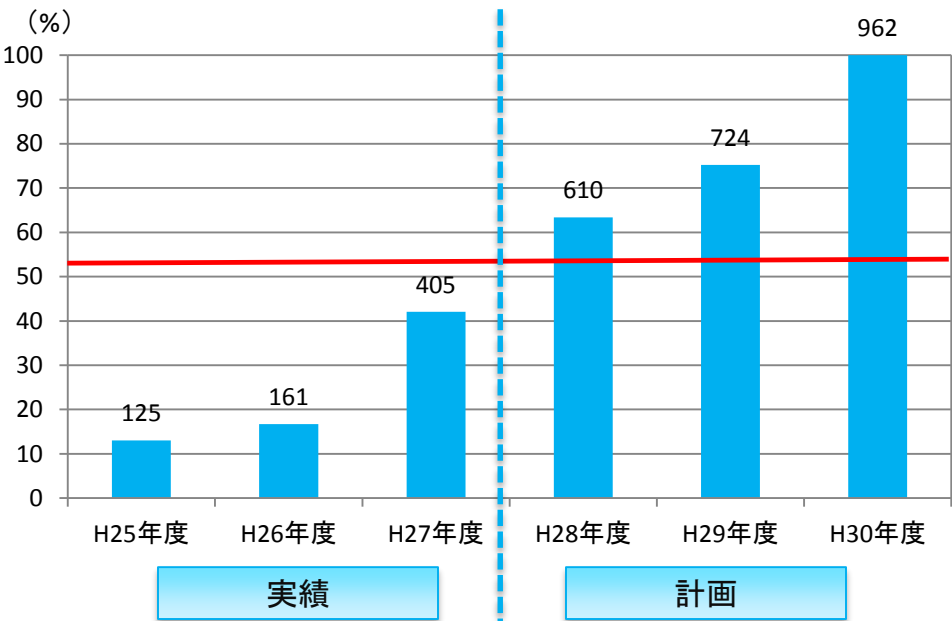


	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	合計
土地区画整理	23	143	545	954	1,665
防災集団移転	51	171	324	442	988
区画合計	74	314	869	1,396	2,653
累計	74	388	1,257	2,653	

※撮影場所:町方地区

(4)復興事業の進捗状況 ～災害公営住宅～

災害公営住宅戸数



	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
単年度	125	36	244	205	114	238
累計	125	161	405	610	724	962

末広町災害公営住宅 H28.03完成

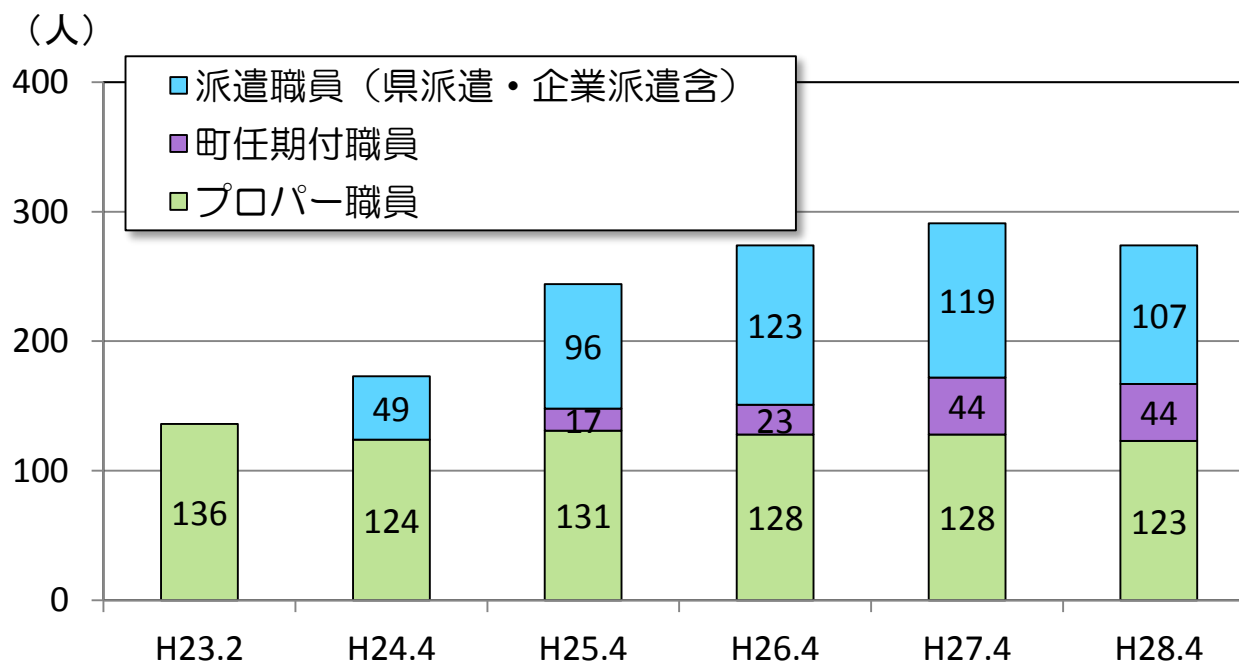


杵内第2災害公営住宅 H28.03完成



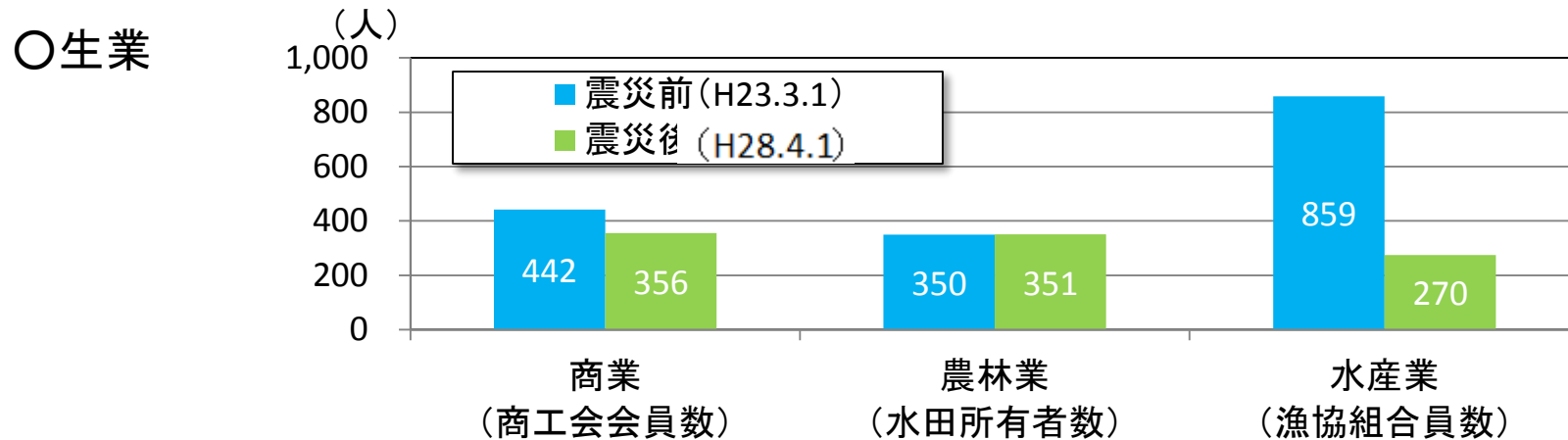
(5) 復興事業の進捗状況 ～職員数～

○職員数の推移

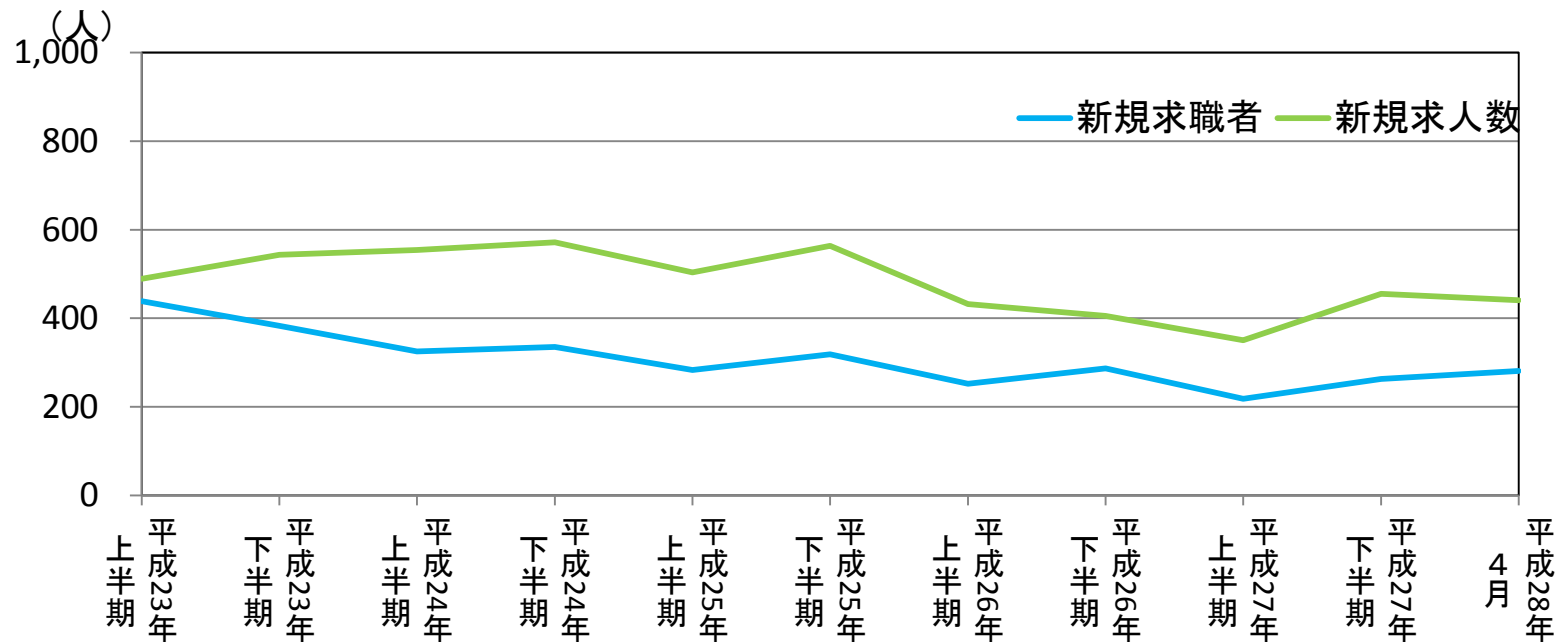


※H28.4.1現在

3. 産業の状況 (1) 生業の状況



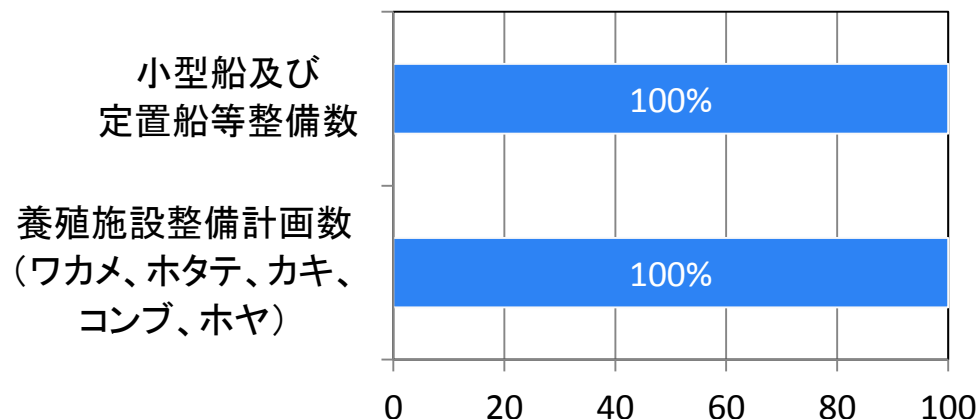
○新規求職者数・求人数



新規求職者数は、
震災直後の平成
23年5月以降、新
規求人数を下回
る傾向が続いてい
る。

(2) 水産業の状況

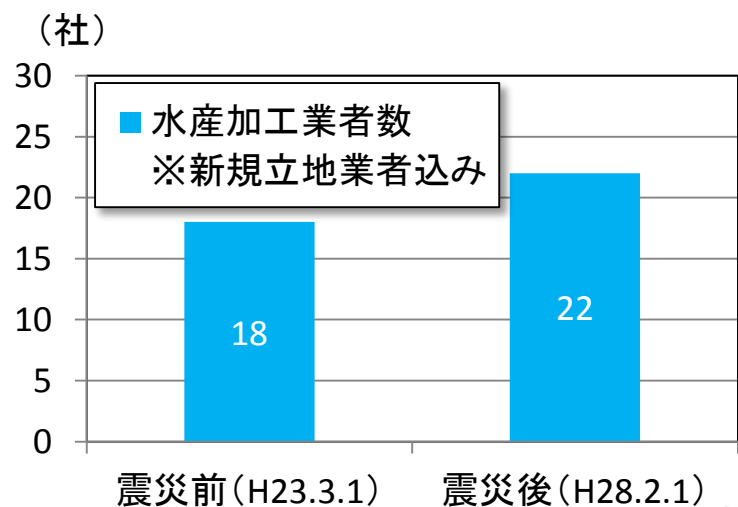
○施設等整備



小型船及び定置船等整備計画数	237隻
小型船及び定置船等整備数	237隻

養殖施設整備計画数 (ワカメ、ホタテ、カキ、コンブ、ホヤ)	580台
養殖施設整備数 (ワカメ、ホタテ、カキ、コンブ、ホヤ)	580台

○水産加工業者数



※ナカショク、伊藤商店、浦田商店、(株)ゼネラル
オイスター、平庄、小豆嶋漁業、T R S、及順
商店、たかのり海産、大鶴商店、六串商店、あ
さひ堂、石山水産、小野食品、壮関、中里商
店、越田鮮魚店、芳賀鮮魚店、デジタルブック
プリント、小国商店、魚よし、どまん中おおつ
ち

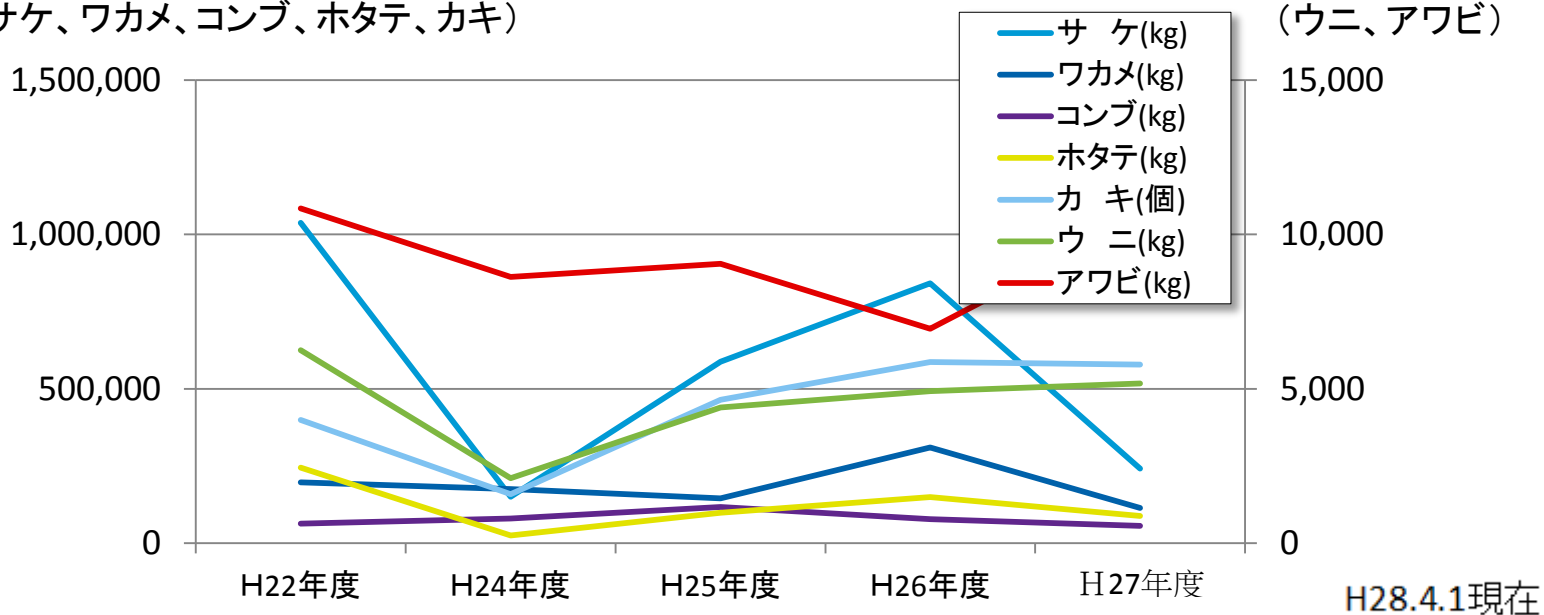
H28.4.1現在

※H28.4.1現在

(2) 水産業の状況

○主要水産物水揚げ高

(サケ、ワカメ、コンブ、ホタテ、カキ)



区 分	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
サ ケ(kg)	1,037,194	150,386	588,321	842,084	246,845
ウ ニ(kg)	6,249	2,111	4,396	4,924	5,171
アワビ(kg)	10,837	8,625	9,045	6,941	10,477
ワカメ(kg)	197,023	175,025	145,233	309,739	289,151
コンブ(kg)	63,690	79,789	117,764	77,730	55,770
ホタテ(kg)	244,404	25,059	99,253	149,420	156,600
カ キ(個)	399,290	159,253	464,798	586,359	598,390

※H28.4.1現在

4. 公共施設の再建状況 (1) 県立大槌病院



- 建設場所: 上閉伊郡大槌町小槌22-31-2(町営球場跡地周辺)
- 工事概要
 - (1) 病院: 鉄筋コンクリート造 3階建て 延床面積5,353㎡(50床)
 - (2) 医師公舎: 鉄筋コンクリート造 3階建て 延床面積1,057㎡
 - (3) 職員公舎: 鉄筋コンクリート造 4階建て 延床面積1,258㎡
- 整備スケジュール
 - 平成26年7月～平成27年度 建築工事
 - 平成28年4月27日 落成式、平成28年5月9日 開院(診療開始)
- 病院の機能
 - (1) 圏域の地域病院として、広域基幹病院である県立釜石病院等と連携しながら、高齢者を中心とした入院機能を担う。
 - (2) 診療時間内の一次診療を基本とし、診療時間外の救急は県立釜石病院で対応する。
 - (3) 入院患者を中心とした維持期のリハビリテーション機能を提供する。
- 診療科及び病床規模
 - (1) 診療科 内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科
 - (2) 病床数 1病棟 一般病床50床

(2) 小中一貫校（平成28年9月開校予定）



大槌学園 完成イメージ図

- 大槌小、大槌北小、赤浜小、大槌中学校が被災。
- 安渡小を含め4小学校・1中学校を合わせて寺野地区に仮設設置。
- 大槌学園小中一貫教育校として再建することとし、移転先を決定（H26.3都市計画決定）。校舎はH27年2月より建築工事着手、H28年9月開校予定。
- 吉里吉里小・吉里吉里中は、吉里吉里学園として、小中校舎を小学部・中学部校舎として使用。
- H27年4月から小中一貫教育「ふるさと科」が本格実施。



H28.5 大槌学園 工事状況



(3) 消防署



- 再建施設はH26年に建築工事着手し、H28年3月19日落成式・運用開始。
- 移転先は大槌中学校跡(源水地区)。

(4) 御社地エリア復興拠点施設



東日本大震災により被災した御社地ふれあいセンター、大槌町立図書館等を(仮称)御社地エリア復興拠点施設として整備。

- ・ 建設場所:大槌町末広町2番、大町7番
- ・ 施設の用途:図書館、ホール、生涯学習施設会議・交流・町民活動施設
- ・ 階数:地上3階建て
- ・ 延床面積:2,200m²程度

スケジュール (予定含む)

平成28年 3月	基本設計完了
平成28年11月	実施設計完了
平成28年12月	着工
平成30年 3月	完成
4月	開館
平成30年 6月	図書館開館

(5) 公民館



- 安渡、赤浜、吉里吉里地区とも被災し、解体済。
- 予定3箇所のうち、1箇所が着工
- 安渡、赤浜地区は避難ホールと合築で再建、建築設計完了。
- H27年7月に安渡地区公民館・避難ホール入札を実施し、業者決定。H28年11月完成予定。
- 赤浜地区公民館・復興まちづくり支援施設入札をH28年度に実施予定。整備用地調整中。
- 吉里吉里地区は公民館単独で再建、建築設計中。

5. 生活再建と支援

(1) 地域復興協議会とコミュニティ協議会

地域復興協議会

災害復興対策を総合的かつ計画的に推進するための過程において、地域住民との合意形成を図るため、地域復興協議会を設置しています。

主に次の項目を協議します。

- 大槌町震災復興構想素案に関する事
- 地域復興計画策定に関する事
- 身近な暮らしや地域の課題に関する事

年2回程度開催



コミュニティ協議会

町内の自治会組織、NPO及び企業などの代表が集まり、被災者支援やコミュニティ形成、観光、地域活性化など共有の課題解決について議論するとともに、各団体間の交流を図る場として、コミュニティ協議会を設置しています。

年2回程度開催



(2) 自治会の設立状況と活動例

既設の自治会

- 吉里吉里1～4丁目、花道育成会
- 安渡町内会、沢山町内会
- 源水町内会、大ケ口団地町内会
- 桜木町町内会、花輪田町内会

震災後 新設した自治会

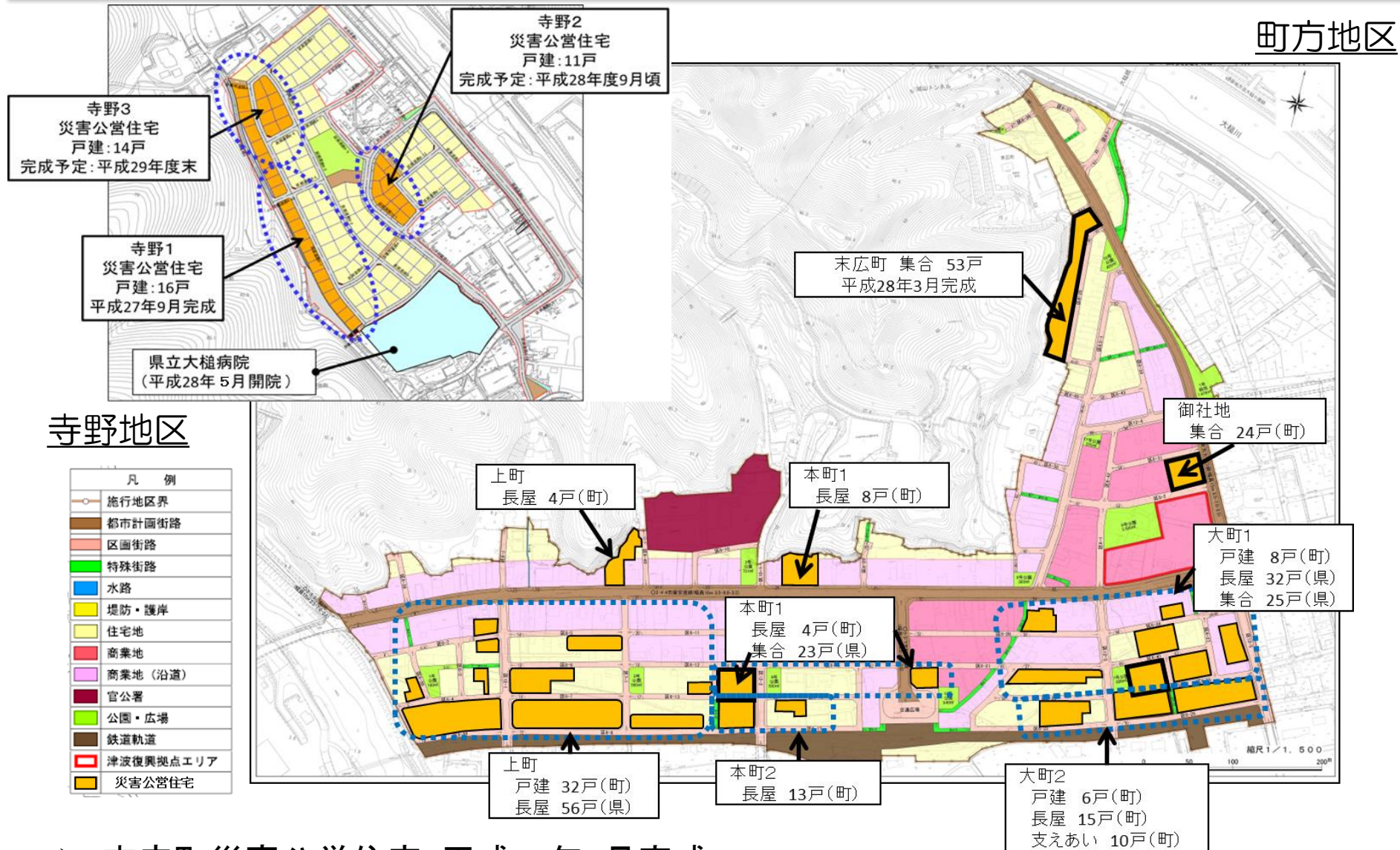
- 赤浜自治会
- 吉里吉里町営住宅自治
- 桎内町内会
- 大ケロー一丁目町営住宅町内会
- 大ケ口町内会
- 臼澤自治会
- 浪板町内会、迫又町内会(28年度内設置予定)
- 末広町町内会、小枕町内会(28～29年度内設置予定)

休止中または 自治会のない地区

- 上町、本町、大町、新町、松の下、金沢、小鎚



(3) 災害公営住宅



➤ 末広町災害公営住宅: 平成28年3月完成。

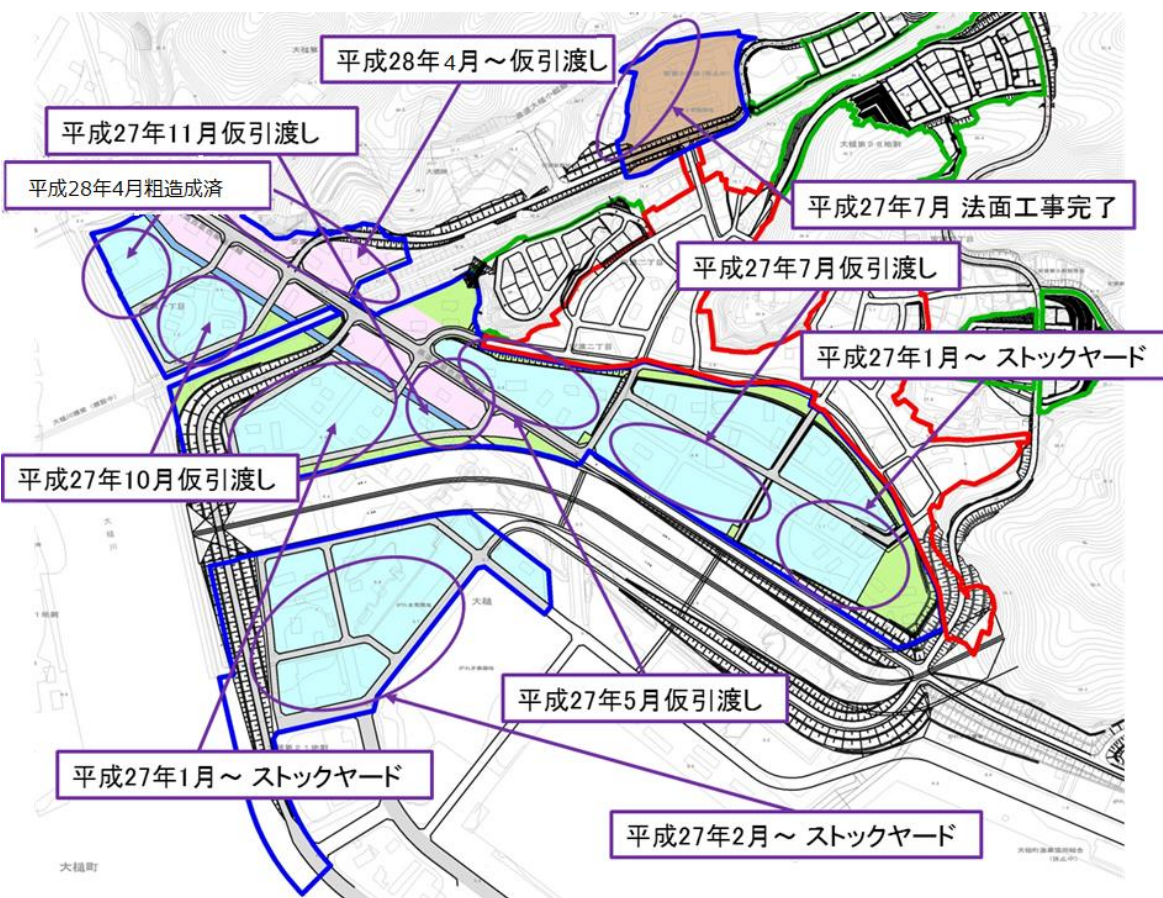
(4) 津波復興拠点整備事業



町方地区津波復興拠点整備事業(4.4ha)

- 先行街区においては、平成25年11月に造成工事が完成し、県道大槌小槌線沿いで営業していた店舗などが仮営業中。
- A-E区画においては、平成26年12月に造成工事が概ね完成し、22事業者の入居が決定。
平成28年4月現在、9事業者が営業を開始している。

(4) 津波復興拠点整備事業



安渡地区津波復興拠点事業(19.6ha)

大槌町の復興の到達点と課題

その1 ハード面の構想 →おおむね実現

かさ上げするだけでは町はもとに戻らない

- ・ 地域の資源の有効活用（イトヨ、湧水、吉里吉里国、ひょうたん島などなど）
- ・ 住民自身が戻りたいと思えるまちづくり
まちの記憶を取り戻す
住民自身によるまちづくりの議論の場を用意（東大の協力）
住民の意見が反映される、それぞれがまちの再建のイメージを共有する
- ・ 復興をみんなで考える
まちづくり分科会、地域復興協議会の活用

大槌町の復興の到達点と課題

その1 ハード面の構想 →おおむね実現

コミュニティの再構築

- ・ コミュニティ形成に配慮した災害公営住宅の整備
木造長屋建てや木造戸建ての災害公営住宅整備、
- ・ 災害公営住宅における入居の配慮
優先枠の設定（旧居住地区枠、グループ応募枠）
ペット可住宅、車いす対応住宅の整備
- ・ 自治会運営のサポート、社会福祉協議会等との連携
- ・ Uターン支援策の実施
- ・ 庭造り支援（苗木・土配布）



大槌町の復興の到達点と課題

その1 ハード面の構想 → おおむね実現

震災復興を経て、持続可能な町へ

- ・ 町の財政を痛めないように
効果促進事業の有効活用
- ・ 仕事のあるまちへ
津波復興拠点整備事業の導入による産業団地の整備
企業誘致活動の展開、漁業の早期復興
- ・ 公共公益施設の全体整備計画を作成
ライフサイクルコストやファシリティマネジメントの観点を取り入れる
(青森県、龍ヶ崎市等が先例)
維持管理費がかからないように省エネ機器などを導入
地場産材を活用した木造施設整備を推進

大槌町の復興の到達点と課題

その1 ハード面の構想 → おおむね実現

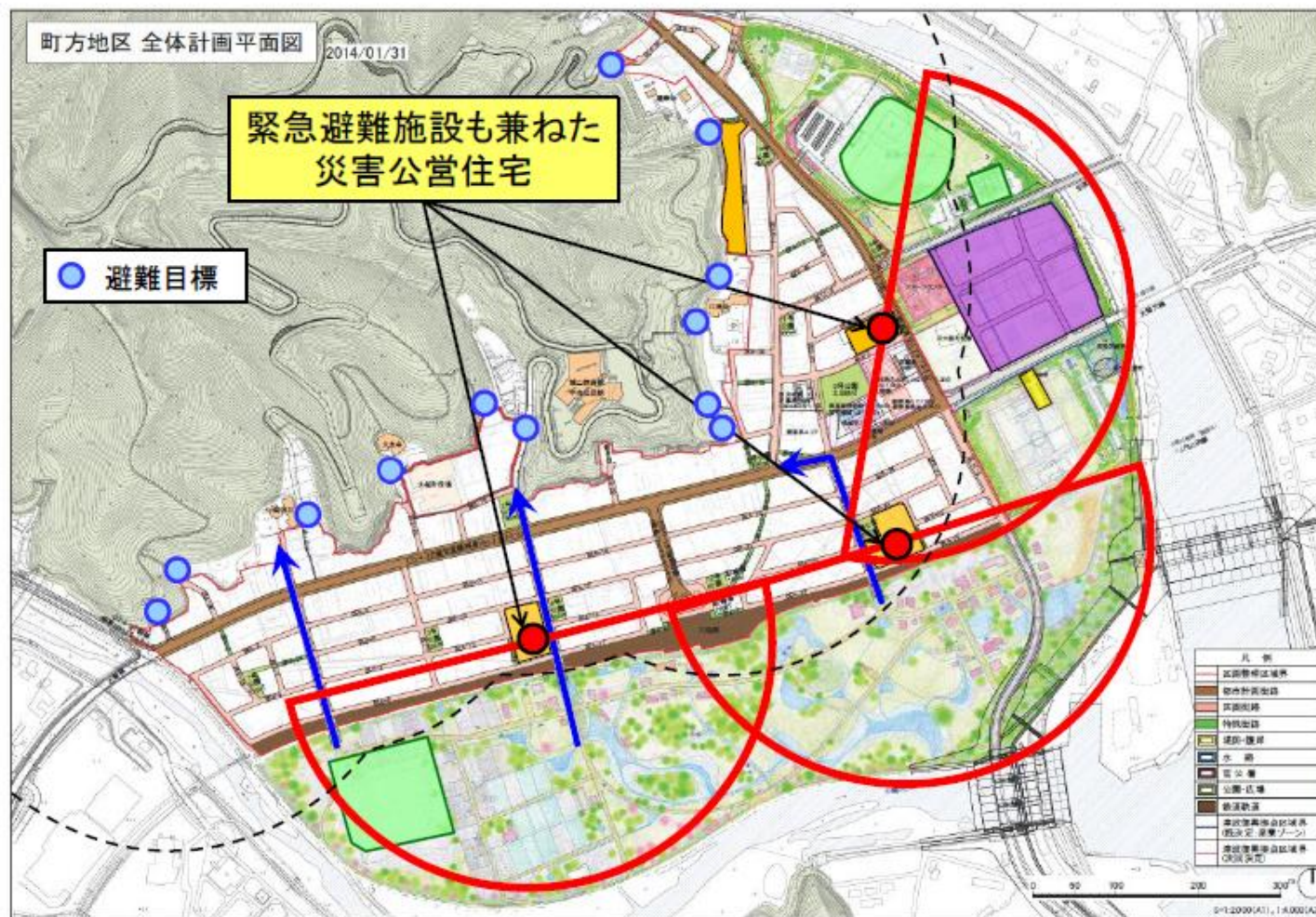
安全な魅力あるまちづくり

- ・逃げやすいサイン計画
- ・まちの記憶を取り戻す（水路、小径の再整備）

日常の中に防災を

- ・御社地エリア復興拠点施設を防災教育の拠点に
- ・ホールで普段は民俗芸能の練習 → 防災学習の場としても活用できるように

緊急避難施設を兼ねた災害公営住宅について



大槌町における復興まちづくり・災害公営住宅の取組の成果

- ・大槌町では、**土地区画整理事業の地区内に防集団地及び災害公営住宅団地を計画**

(平地が少なく、新規団地整備に限界があるため、土地区画整理事業区域内を先買い → 換地を受けて防集団地及び災害公営住宅団地を整備)

土地区画整理事業地区内の土地利用未定地の減少と市街地密度の向上に寄与

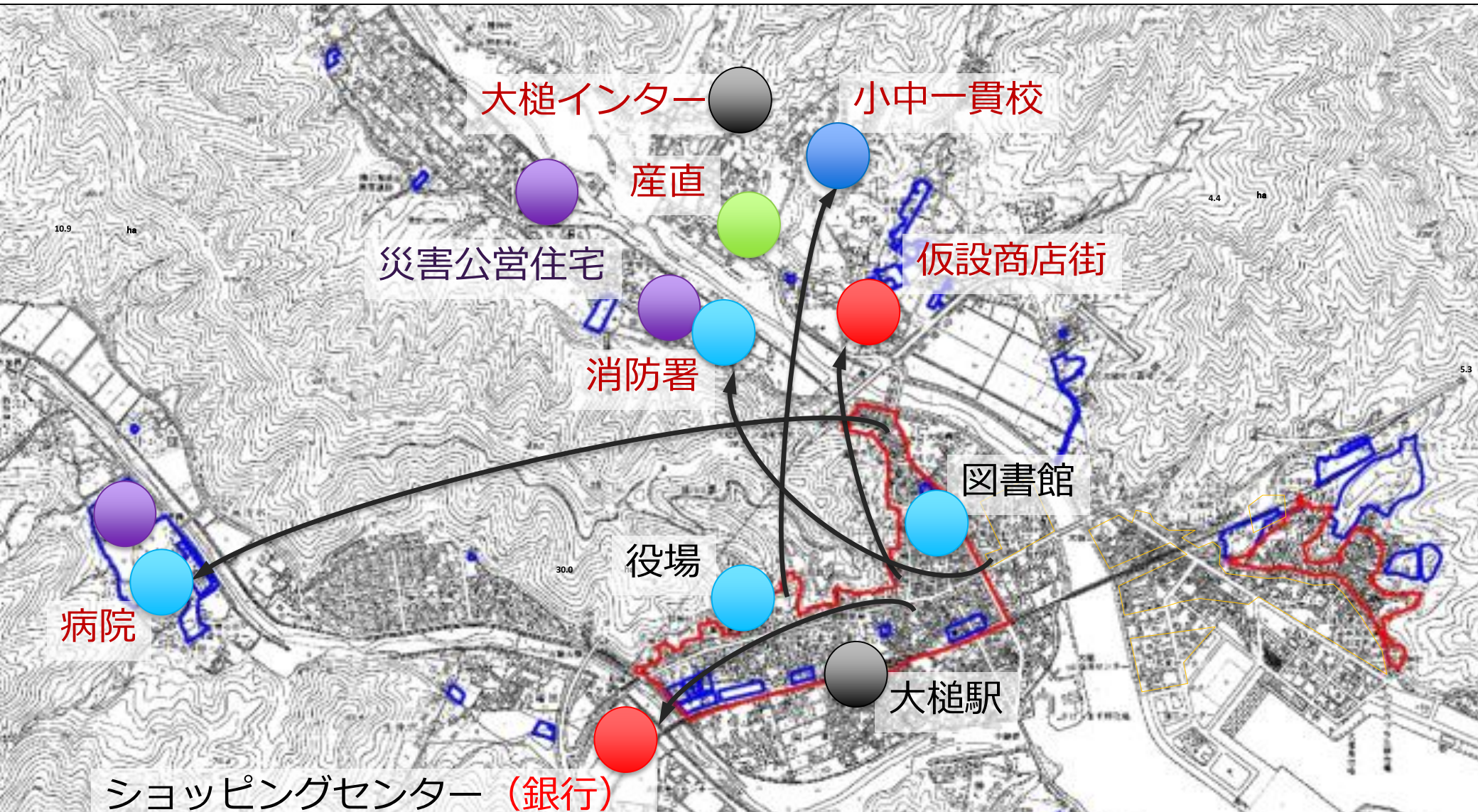
- ・**幾度となく重ねた地域住民との話し合い**
高い津波防災意識（安渡地区は400人が住民による避難訓練に参加）

防潮堤の整備は遅れるものの、その前に整備される災害公営住宅への多くの入居希望者（いざというときは逃げるしかない）

大槌町の復興の到達点と課題

その2

町の公共施設や利便施設が周辺へ移転 → 分散型の市街地になり



大槌町の復興の到達点と課題

その3 ソフト面 → 一部実現、まだまだこれから

町の情報の蓄積と発信

- ・アーカイブ活動
- ・ポータルサイト

商業・観光の再生

- ・漁業再生、販路の発掘・拡大
- ・大槌みやげの育成、ふるさと納税
- ・観光促進（大槌の「売り」の発掘）
- ・ツアー販売（被災地ツアー、新山高原ツアー）

交流人口の拡大

- ・大槌ファンクラブづくり
- ・音楽、スポーツなど合宿誘致と交流人口増
- ・駅利用促進策